

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

エンジンクレーン 2トン

取扱説明書

【品番】SET-EC-2・SET-EC-4

この度は「エンジンクレーン 2トン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒729-0112 広島県福山市神村町字仁五下 4757-1




(M A I L) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

 危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
 警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
 注意	誤った方法で使用すると『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

■製品使用上のご注意

警告

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますので、はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装(手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- お子様の手が触れない場所で使用・保管してください。
- 能力以上の荷は吊り上げないでください。最大能力以上で使用されると故障や事故の原因となります。
- 無理な荷重をかけたり、ハンドルが重くなるほどの荷を吊り上げたりすると、クレーンの破損、転倒等の重大な事故に繋がる恐れがあります。絶対に無理な吊り上げを行わないでください。
- 荷を吊り上げる前にキャスターが確実に地面に接地していることを確認してください。不安定な場所でのご使用はお控えください。製品が転倒する恐れがございます。
- この製品は吊り上げ専用となります。荷を吊り上げて保持するものではありません。自然降下しますので荷重をかけたまま長時間荷を吊り上げて放置しないでください。
- 能力の半分以下の荷重をかける場合にも作業前には必ずクレーンを点検し、よく注意を払い安全確認をしながら作業を行ってください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。

注意

- ご使用前にナットやボルトがしっかり締まっているか確認してください。
- ナットやボルトは同梱されている物を使用してください。粗悪品や代替品の使用はお控えください。

※本製品はエンジンの吊り上げを想定した商品です。

本来の目的以外には使用しないでください。

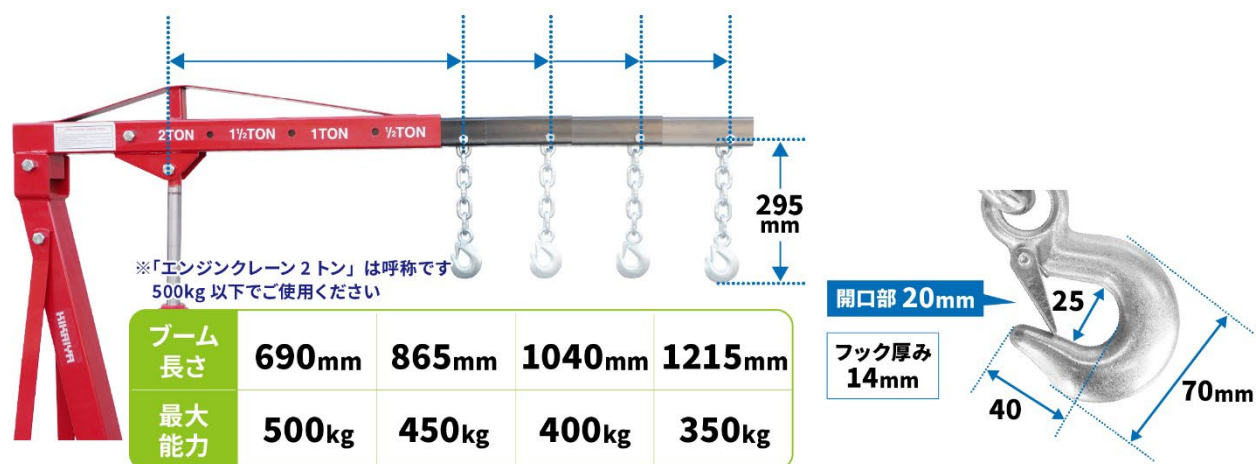
■製品仕様

	手動	エアー／手動兼用
品番	SET-EC-2	SET-EC-4
本体重量	71kg	80kg
ブーム長さ／最大能力	690mm／500kg 865mm／450kg 1040mm／400kg 1215mm／350kg	
材質	スチール	
使用エアー圧力	-	0.58～0.98Mpa

※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

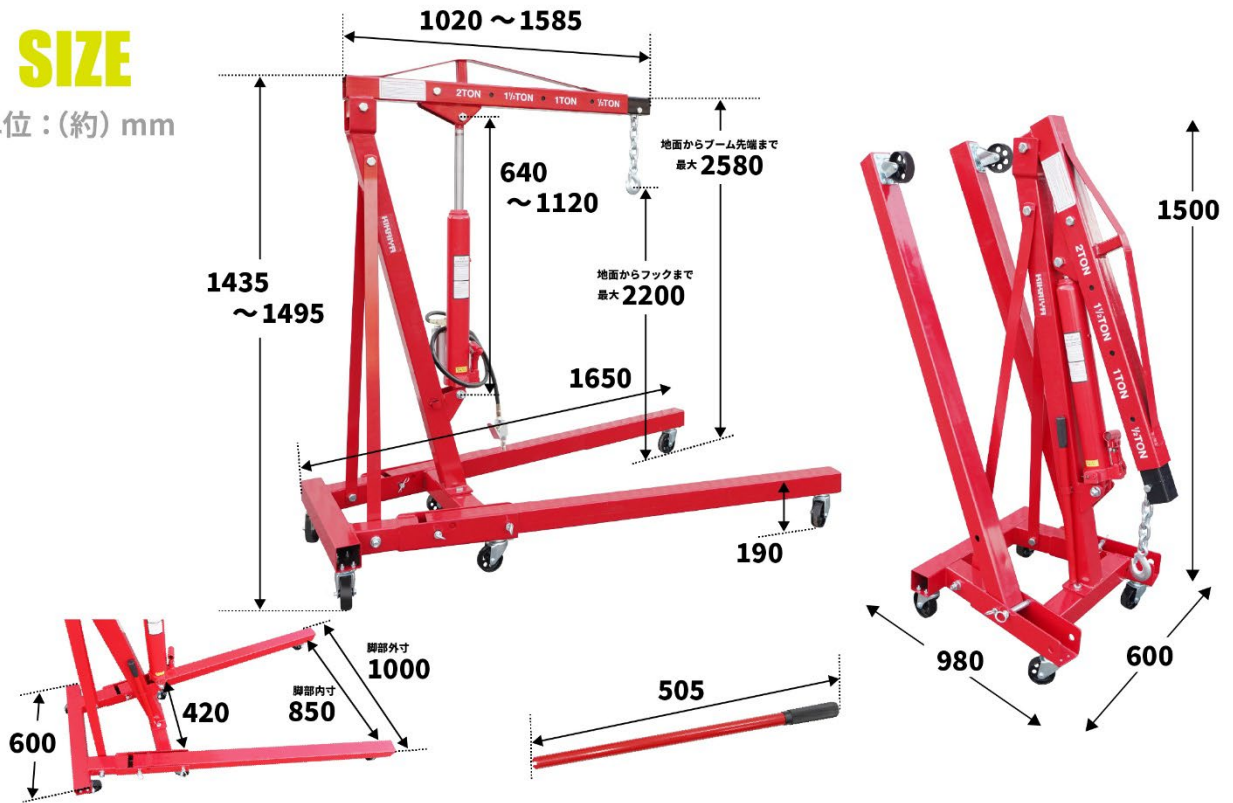
■製品説明

- 油圧シリンダーでブームの起伏を行い、エンジンの持ち上げ作業を軽々と行えます。
- ブームの長さは4段階で調節可能です。
- ブームの高さは油圧シリンダーで無段階に調節可能。(ジャッキストローク 480mm)
- 本体は折り畳み式で収納時はコンパクトになります。
- キャスターは6輪全て自在車輪で作業時位置合わせが容易です。
- 便利なハンドルホルダー付き。
- エアーポンプを使用する場合はエアーコンプレッサーが必要となります。

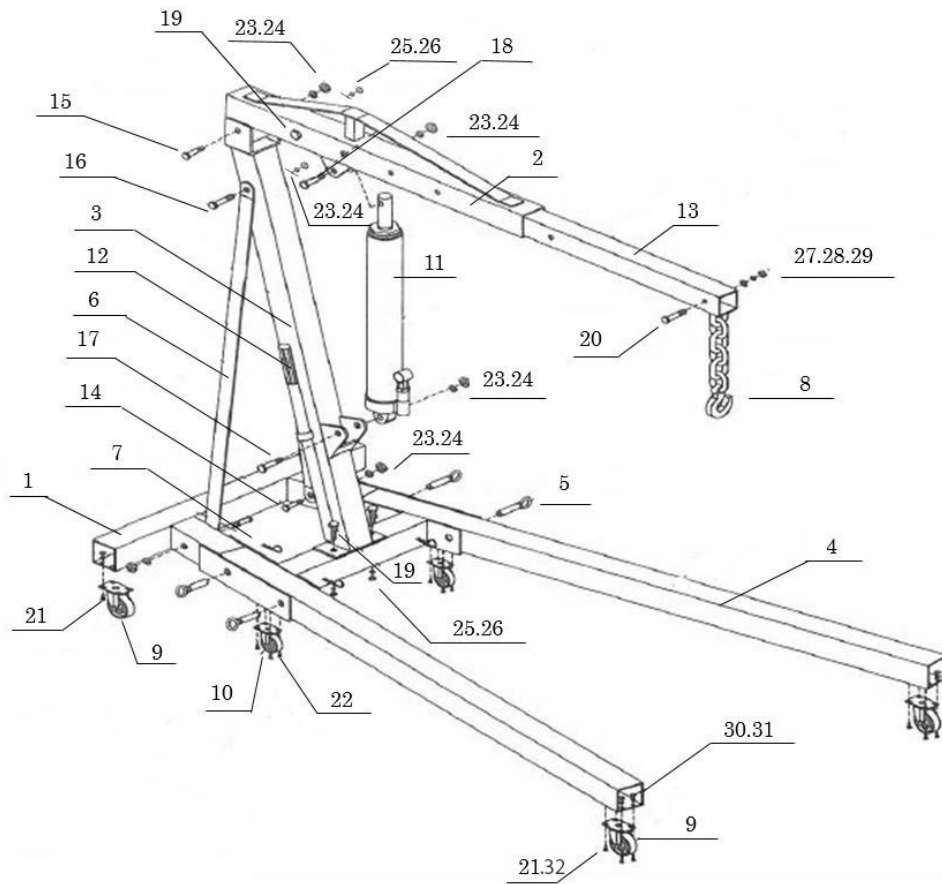


SIZE

単位：(約) mm



■ パーツリスト



番号	名称	個数	番号	名称	個数
1	ベース	1	17	六角ボルト M16x90	1
2	ブーム	1	18	六角ボルト M16x80	1
3	支柱	1	19	六角ボルト M14x100	3
4	脚	2	20	六角ボルト M12x75	1
5	ロックピン	4	21	六角ボルト M8x20	16
6	サポートバー	2	22	六角ボルト M8x12	8
7	Rピン	4	23	ナット M16	6
8	チェーン/フック	1	24	平ワッシャー φ16	6
9	自在キャスター(大)	4	25	ナット M14	3
10	自在キャスター(小)	2	26	平ワッシャー φ14	3
11	油圧ジャッキ	1	27	ナット M12	1
12	ハンドル	1	28	平ワッシャー φ12	1
13	先端ブーム	1	29	スプリングワッシャー φ16	1
14	六角ボルト M16x100	2	30	ナット M8	16
15	六角ボルト M16x120	1	31	スプリングワッシャー φ8	24
16	六角ボルト M16x110	1	32	平ワッシャー φ8	24

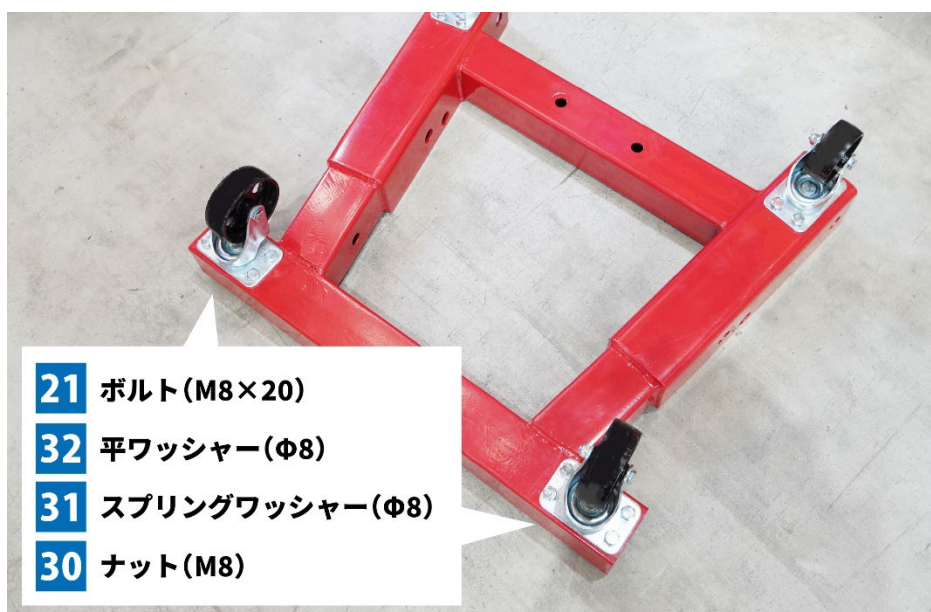
■組み立て手順

※ボルト・ナットは**仮締め**で組み立てた後、最後に**本締め**を行ってください。

※安全のため2名以上で組み立てを行ってください。

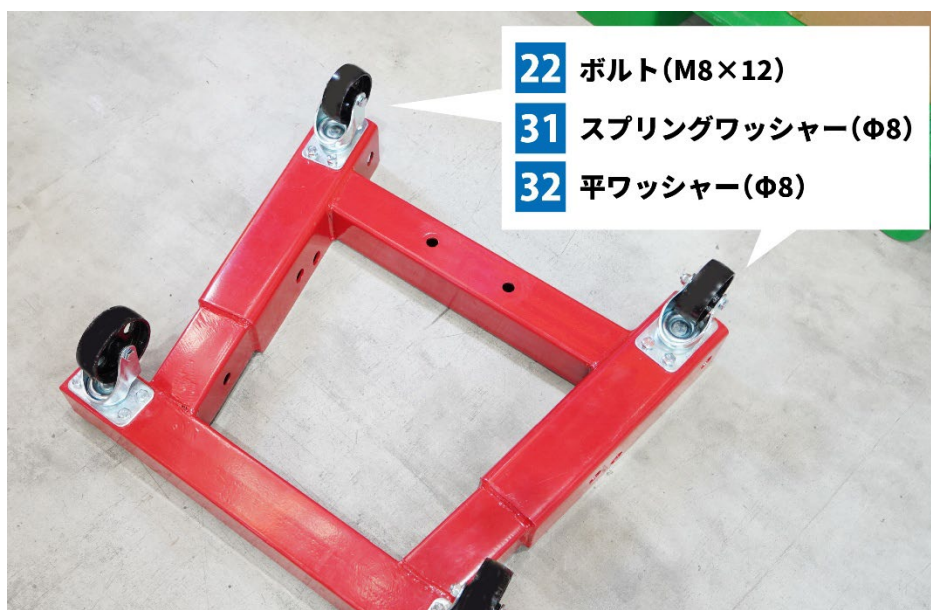
Step.1 ベース(1)に自在キャスター/大(9)を取り付ける。

【使用工具:スパナ 14mm×2】



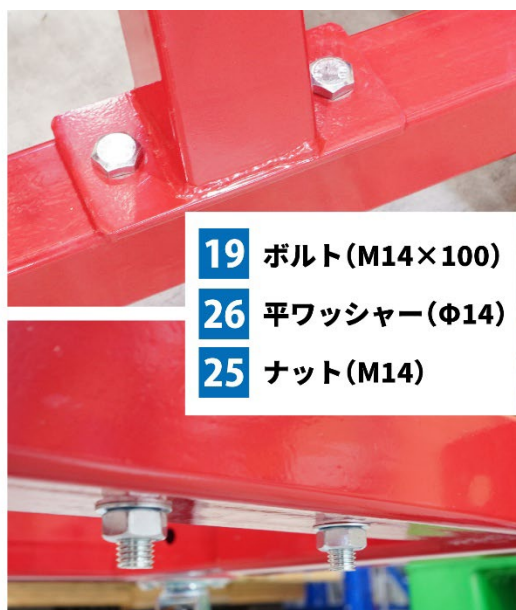
Step.2 自在キャスター/小(10)を取り付ける。

【使用工具:スパナ 14mm×1】



Step.3 支柱(3)をベース(1)に取り付ける。

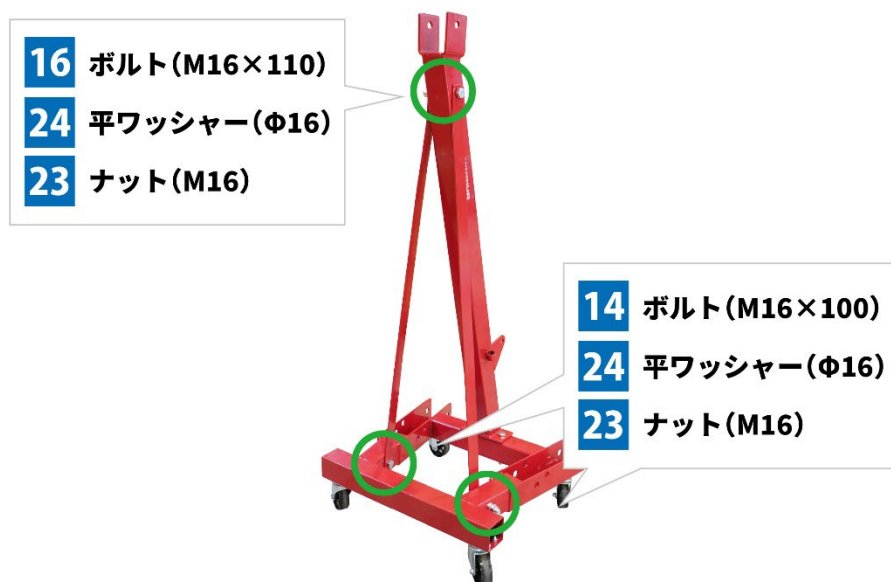
【必要工具:スパナ 22mm×2】



Step.4 サポートバー(6)を左右に取り付ける。

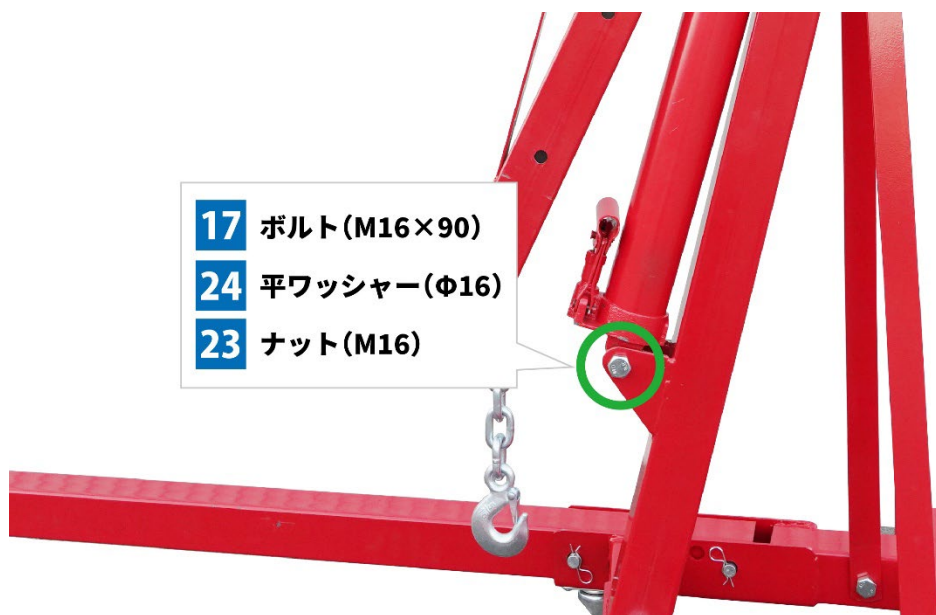
※ボルト・ナットを本締めしているとサポートバーの取り付けができない可能性があります。

【必要工具:スパナ 24mm×2】



Step.5 油圧ジャッキ(11)を支柱(3)に取り付ける。

【必要工具:スパナ 24mm×2】



Step.6 ブーム(2)を支柱(3)に取り付ける。

【必要熟工具:スパナ 24mm×2】



Step.7 油圧ジャッキ(11)をブーム(2)に固定する。

【必要工具:スパナ 24mm×2】



Step.8 ブーム(2)に先端ブーム(13)を取り付ける。

※先端ブームが抜け落ちないように十分にご注意ください。

【必要工具:スパナ 19mm×2】

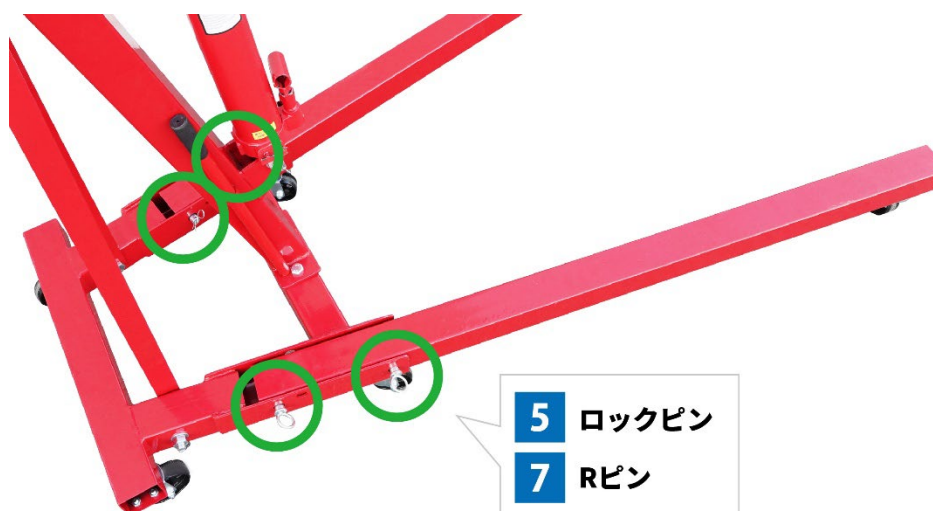


Step.9 脚(4)に自在キャスター/大(9)を取り付ける。

【必要工具:スパナ 14mm×2】



Step10 脚(4)をベース(1)に取り付ける。



Step.11 全てのボルトナットを本締めする。

■使用方法



◆上昇

1. リリースバルブを時計回りにまわし、しっかりと締めてください。
2. (手動)ハンドルを上下させるとブームは上昇します。
(エア)コンプレッサーに接続してレバーを握るとブームは上昇します。

⚠ 注意

- ※ ブームの長さ調節をする際は先端を下げすぎて抜け落ちないように、角度にご注意ください。
- ※ **クレーンは荷(荷重)を長時間保持できません。時間経過とともに自然降下しますのでエンジンを吊り上げたまま作業を行わないでください。**

◆下降

1. リリースバルブをゆっくりと反時計回りにまわし、緩めるとクレーンは下降します。

⚠ 注意

- ※ リリースバルブは必ずゆっくりと回してください。
荷重がかかった状態でリリースバルブを一気に回すと急激にクレーンが下降するため危険です。
- ※ リリースバルブを緩めすぎないでください。
内部のスチールボールが飛び出し、ジャッキが故障する恐れがあります。

◆エア－抜き手順

※初回ご使用時にはジャッキのエア－抜き作業を行ってください。

- ① ジャッキが下がった状態で、給油口の栓をつまんで取り外し、内部のエア－を抜いてください。
- ② リリースバルブを反時計回りに2回転程回し、緩めてください。
- ③ (SET-EC-2) ▶ 10回ほどハンドルを上下させてください。
(SET-EC-4) ▶ エア－ポンプを5秒ほど作動させてください。
- ④ リリースバルブを確実に締めて、通常通りポンプを動かすと正常に動作します。

改善されない場合は③の工程を2、3度繰り返してください。

※上記の作業で改善されない場合は、オイル不足・ポンプ ASSY が原因での動作不良と考えられます。

■メンテナンス・保管について

- オイルの補充や交換をする際は ISO VG15 などの高品質な作動油を使用し、混ぜ物は使用しないでください。
ジャッキのロッドを一番下まで戻した状態で給油口の下あたりまで作動油があれば十分です。
- ブレーキ液、アルコール、グリセリン、添加剤が含まれたオイル、汚れたオイルは使用できません。
適切ではない液体を使用した場合、製品が故障する危険性がございます。
- 作動油を補充する際は、ゴミやホコリ等異物が混入しないよう細心の注意を払ってください。
- 油圧シリンダーやハンドルのプランジャーにサビや腐食がないか定期的に点検を行ってください。
- サビや腐食を防ぐために定期的にオイルを染み込ませた布で製品を拭うことをお勧めします。
- 長期間使用しない時は、製品を折りたたんだ状態で保管してください。

■トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
油圧を保持しない (荷を支えない)	仕様	時間経過とともに自然降下する製品です エンジンを吊り上げたまま保持はできません
	バルブシートの不良	バルブシートの汚れをとる ① ブームを下げる ② リリースバルブを閉め、給油口の栓を外す ③ ブームを手で持ち上げられるところまで上げる ④ リリースバルブを開けてブームを下げる ⑤ 試運転をし、正常に稼働するか確認する
ブームが上がらない ブームが完全に下がらない	エア噛み	エア抜きの作業をする(エア抜き手順参照)
	オイル量が不適正	オイル量の確認と調整をする 1. 給油口を外す 2. オイル量を確認する 3. 正常位までオイル量を調整する (ロッドを下げた状態で給油口の下あたりまで作動油がある状態)
ポンプが最大まで上がらない	オイル量が不適正	オイル量の確認と調整をする(上記参照)
作動不良	エア噛み	エア抜きの作業をする(エア抜き手順参照)
	オイル量が不適正	オイル量の確認と調整をする(上記参照)
	油圧シール不良	販売店にお問い合わせください